

### 子ども達の安全を続ける為に 事務局長 服部順子(西中)

登下校中の生徒児童が巻き込まれる、痛ましい事故のニュースを耳にすると、保護者としてとても胸が締めつけられます。しかし、これはいつ自分の身に降りかかるか分かりません。

甲府市教育委員会では、毎年夏休みに、甲府市立小中学校全校において、「通学路の交通安全及び防犯の確保に関わる合同点検」を実施しています。各校の担当教諭・甲府市教育委員会・甲府市交通安全担当・甲府市道路河川課・中北建設事務所・警察、そして私達甲府市P連からもそれに参加しています。

各学校から通学路の危険箇所を甲府市に予め提出し、そこに臨場し、どのように危険か、解決策は何か、を考えるのです。参加していつも感じるのは、行政はハード面での対策、保護者と学校はソフト面での対策が早急に必要という事です。路面標示や標識を新設したり塗り直したり、用水路に蓋をする等は全てお金がかかることです。迅速果断に…と言うわけにはいきません。しかし毎回現場を確認し、どの方法が生徒児童の為にによりよく直せるか勘案しています。そして生徒児童の登下校の安全に対する意識を高めるのは保護者や学校の役割ではないでしょうか。登下校時に自分自身の安全を守るよう、「交差点で車道ギリギリに立たない」「信号を守る」「縁石の上を歩かない」等の、当たり前的小事でも注意して、子ども達に声かけをしていく事が大切だと考えます。

全ての子ども達が事故や犯罪に遭わないように、これからも積極的に参加し、保護者目線で進言していきたいと思ひます。

## 甲府市P連だより

甲府市小中学校PTA連合会情報活動部  
市P連事務局  
〒400-0043 甲府市国母4丁目1-12  
TEL. (055) 222-3866  
FAX. (055) 222-3889  
http://www.ptakofu.org  
E-mail: info@ptakofu.org  
印刷: 総合印刷 王文社

### 令和4年度 市P連活動を振り返って



甲府市小中学校PTA連合会  
会長 小松 秀夫 (北中)

今年度は温故創新く古きよまなび、新しい(未来)をつくるをスローガンに掲げ活動をしてまいりました。

10月15、16日と一大イベントである「第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会」が開催されました。甲府市P連は「継」子どもたちの未来のために研究テーマとして第3分科会を担当させていただきました。沢山の会員のみなさんにご協力、ご参加いただき開催する事ができました。本当にありがとうございました。

また新しい試みとして全家庭数10、415世帯を対象としたネットでのアンケートを実施いたしました。みなさんの貴重なご意見は今後の市P連活動に活かしてまいります。

市P連の活動はみなさんにはなかなか見えてこないと思いますが、この市P連だよりをご覧になって活動内容に少しでも触れていただければ幸いです。これからは単体PTAではなかなか解決できない問題などに積極的に取り組んでいきます。

コロナ禍、物価上昇等激動の一年でした。そんな中でも創意工夫をしながらみなさん日常生活や子どもたちのためにPTA活動を続けてきていただけたと思います。これからも子どもたちの成長を後押しができるような市P連であってほしいと願います。

今年度一年間のご理解とご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

### 第54回 日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会の報告とお礼



10月15日(土)・16日(日)に第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会が開催されました。

15日(土)には県内7会場分科会が開催され、市P連は甲府市総合市民会館芸術ホールで、県内外から約200名の参加をいただき、第3分科会を開催しました。

分科会当日は、樋口甲府市長、数野教育長、松田校長、会長、青嶋教頭会会長、中山教育会会長、市P連歴代会長を来賓にお迎えして開会式を行いました。

前半の実践事例発表では、甲府市立山城小学校PTA、A 埼玉県寄居町用土小学校PTA、千葉市PTA連絡協議会の3団体から発表いただきました。

後半の講演会では、講師にシンガーソングライター神部冬馬さんをお招きし、「歌は世代を超えた共通言語」歌い継ぎたい想いをテーマに講演をしていただきました。神部さんは4人のお子さんのよきお父さんであり、PTA役員の経験もあるそうです。ご自身の子育ての経験に基づき、楽しく、時には聞いている私達が大きくうなずくような共感できる内容を、歌を交えながらお話ししてくださいました。

また、参加された方々からは「素敵な歌声が心に響きました。言葉だけでは伝わらない事でもメロディーがくと伝わりやすくなり、年代や時代も関係なく継がれる事が素晴らしいと感じました。」神部さんの人と比較ではなく過去の自分と比較してがんばろうというメッセージが心に響きました。

第3分科会のテーマは「家庭教育」、キーワード「継」、そしてテーマの「子どもたちの未来のために。世代を超えて心を1つに:今こそ!音楽の持つその力」を実感した講演会でした。

16日(日)には、県内外から約1,250名のご参加をいただき、河口湖ステラシアターで全体会が行われ、ノーベル医学・生理学賞を受賞された大村智理学博士に「私の科学と社会貢献」と題し講演をいただきました。

### 母親委員会 委員長 吉田佳代子(東中)

コロナ禍でなかなか思うように活動できない部分もありましたが、母親委員会では「食」に関わることを中心に情報交換などを行っています。

今年度も学校給食に関して、母親委員会正副委員長、副ブロック長で意見を出し合い、12月に甲府市教育委員会教育長へ要望書を提出しました。子どもたちが楽しい給食時間と思ってもらえるように今後も取り組んでいきたいです。

また、母親委員会という名称が「育み委員会」に令和5年度定期総会を経て改称される予定です。子育ては母親だけのものではなく、すべての人が関わるものです。そういった思いも込めてこの名称に決まりました。これからも子どもたちのために、率先して活動していきたいと思ひます。

### 情報活動部 部長 依田大史(北中)

情報活動部では、昨年度から続いておりますコロナの影響で1年を通しオンライン上にて活動を主に行っていました。

話し合いや取り決めなども実際に顔を合わせて話し合う機会も少なく、オンライン上での進行に難しさを痛感しましたが、常任理事の方をはじめ、沢山の役員の方たちのサポートのおかげで無事1年間の活動を終えることができました。

また、「第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会」への参加と写真撮影を務めさせていただくなど、貴重な体験もさせていただき、様々なPTA活動にも触れることができました。今後もPTA活動や有意義な情報の発信に期待をしております。

1年間ありがとうございました。

### 教育研修部 部長 小林久美子(甲運小)

今年度教育研修部では、第1回部会の折、山梨県立大学人間福祉部教授の坂本玲子さんをお招きし、学習会を開催しました。子どもだからと手を出し過ぎるのではなく、自主性を大事にして、親は子どもが10歳を過ぎたら手伝うという形で子どもと接し自立心を育てると言うことを学びました。同じ悩みを抱える保護者の方にとって実りある時間になったと思ひます。

また、10月15日に開催された第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会第3分科会では運営委員校の皆さんに受付、接待、案内など運営スタッフとしてご協力いただきました。

コロナ禍、なかなか思うように部会等開催できなかった今年度の活動ですが、皆様のご協力に感謝申し上げます。

### 令和4年度 甲府市小中学校PTA連合会主催「広報紙コンクール」審査結果

市P連では平成29年度より開催している『甲府市小中学校PTA連合会主催広報紙コンクール』を今年度も行い、市P連加盟の16PTAより応募がありました。

11月16日(水)に審査会を行い、厳正な審査が行われ下記の広報紙が受賞致しました。

- ◆最優秀賞 附属小学校PTA 『きりのはNo136・No137』
- ◆優秀賞 千塚小学校PTA 『令和3年度PTA新聞 ちづか 号外/PTA本部だより つなぐ第1号・第2号・第3号/PTAって 号外』
- ◆優秀賞 山城小学校PTA 『山城2022(令和4)年3月18日号』
- ◆優秀賞 附属中学校PTA 『PTA広報 桐の実 第140号・第141号』
- ◆奨励賞 中道北小学校PTA 『かしわっこ新聞2021年度号』
- ◆特別賞 舞鶴小学校PTA 『まいづる令和3年度特別増大号』



関ブロ山梨大会開催にあたり、お忙しい中ご協力いただいた役員の皆様、各単位PTAからご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

第3分科会実行委員長 向山祐司(大國小)



「視聴用パスワード ptaym2022」が必要となります。3月末日まで視聴できます。

### 山城小学校PTA 関ブロ山梨大会第3分科会発表内容

山城小学校は『マリ共和国へお米の寄贈活動を通して地域・学校・家庭で学んだこと』と題し、山城小児童の育成のために地域、学校、家庭が協力して行っている活動について発表しました。

「食とみどり・水を守る山城地区市民会議」は、山城地区自治会連合会、JA山梨みらい山城支店と協力して作ったお米を、マリ共和国に支援米として送付しています。15年前から、山城小学校の5年生が田植えと稲刈りの体験、支援米の引き渡し式にも参加させていただいています。子どもたちは、毎日食べるお米がどのような過程を経て作られるのか体験を通して学習するだけでなく、精米されたお米を使って調理実習も行います。また、学校から水田の往復を山城地区交通安全協議会のスクールガード隊が付き添い、田んぼではPTA役員が子どもたちと一緒に活動をしながら指導したりしています。

昨年、「SDGs」という言葉が聞かれるようになりました。山城地区では子供たちが持続可能な社会の担い手としていきいきと活躍できるよう、子どもたちの学びを豊かにする協力を行っています。

令和4年度山城小学校PTA顧問 奥山しのぶ



- ◆3月23日(木) 令和5年度単位PTA会長・執行部役員予定者オリエンテーション
- ◆5月13日(土) 県P協 広報紙コンクール審査会、広報紙づくり講習会(10:30 南公民館)
- ◆5月20日(土) 令和5年度母親委員会(10:00 甲府市総合市民会館 多目的室)
- ◆5月20日(土) 令和5年度2専門部運営委員校会議(10:00 甲府市総合市民会館 大会議室)
- ◆5月20日(土) 令和5年度新日理事会(13:45 甲府市総合市民会館 芸術ホール)
- ◆5月27日(土) 令和5年度 定期総会(14:00 甲府市総合市民会館 芸術ホール)
- ◆6月3日(土) 県P協 令和5年度定期総会(13:00 東京エレクトロン 韮崎文化ホール)

今年度もコロナ禍により活動の制限が多くありましたが、無事に市P連だより第91号を発行できたことを嬉しく思ひます。

市P連だよりを発行するにあたり多くの皆様にご協力をいただきありがとうございました。

情報活動部一同

# 子どものパソコン・スマートフォンなどによるネット活用に関するアンケート調査について

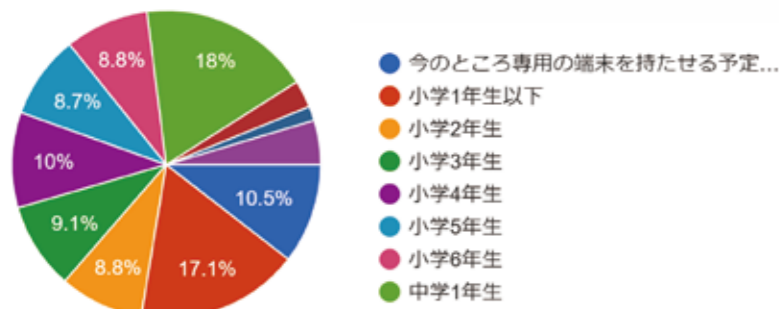
昨年11月、市P連加盟の小中学校38校の保護者を対象に、Googleフォームを利用した市P連初オンラインアンケートを実施しました。

回答については、特定の学年の回答率が有意に高いということではなく、万遍無く回答を収集できました。

1 次のうち、学校から貸与されている端末以外で、子どもが自分専用の端末を持っているものを選んでください。



2 子ども専用の端末をいつから、持たせているか教えてください。現在専用の端末を持たせていない方は、いつから持たせる予定か教えてください。



令和4年度企画調査委員会では、市P連加盟の小中学校38校に子どもが在籍する世帯全てに対して、子どものインターネット活用に関するアンケートを実施しました。今までは、企画調査委員会や単P執行部役員等を対象として調査をしていました。しかし、GIGAスクールも3年目となった今、子どもとインターネットの関係は私達保護者にとっても重要な課題です。全世帯へのアンケート実施は、できるだけ広く回答を収集することで子どものネット活用に関する傾向を明らかにし、今後の市P連活動につなげていくために必要でした。

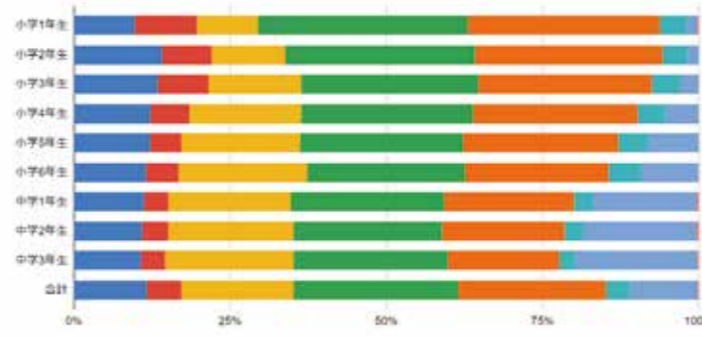
各学校にもご協力いただき、オンラインで行ったアンケートには全体の半数を超える世帯から回答を得ることができました。GIGAスクールに対するご意見も非常に多く寄せいただき、多くの保護者が強い関心を持っていて、ネットを改めて認識しました。約8割の子どもの自分の端末でネットを利用しており、保護者としてもどのように指導をしていくべきか、悩んでおられる方も多いようです。

今回の結果を活かし、保護者に必要な情報など届けられる市P連活動につながるよう引き継いでまいりたいと思います。アンケートにご協力いただいた皆様にご心より御礼申し上げます。

企画調査委員会 委員長 奥山比呂(城南中)

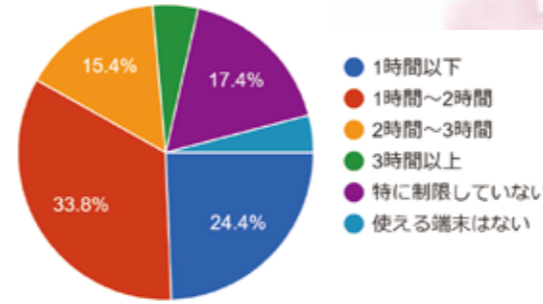
3 子どもは端末を何に利用しているか教えてください。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
学校の課題をしたり、お知らせを確認する	126	218	236	242	285	285	321	331	300	2,344
通信教育などで学ぶ	131	121	145	126	122	126	113	129	110	1,123
検索などで調べ物をしたり、ホームページを見る	126	181	262	356	444	505	562	605	573	3,614
YouTubeなどの動画を観る	440	467	500	546	614	621	706	721	690	5,305
ゲームで遊ぶ	401	463	491	526	584	567	598	596	499	4,725
プログラミングやイラストなどの創作	55	61	78	88	114	125	90	94	72	777
ツイッターやインスタグラム、LINEなどのSNS	22	27	52	104	188	227	476	548	549	2,193
何をしているか把握していない	4	0	1	2	1	2	10	13	5	38

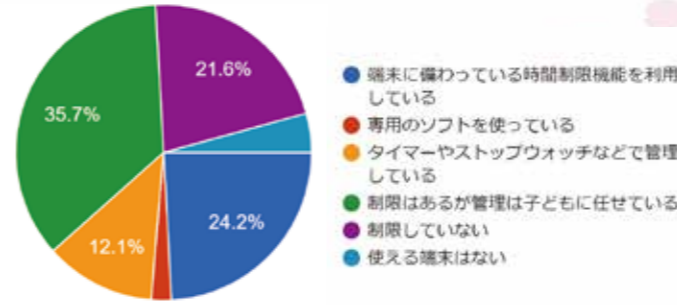


- 【その他の回答】
- 保護者や友達と連絡を取る
  - 音楽を聞く
  - 写真を撮る
  - 漫画を読む
  - 塾や習い事などの課題や練習

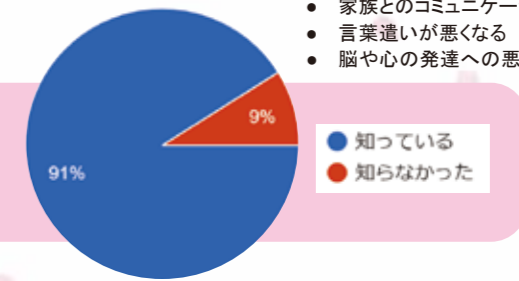
4 子どもは端末利用時間制限を教えてください。



5 子どもは利用時間をどのように制限しているか教えてください。

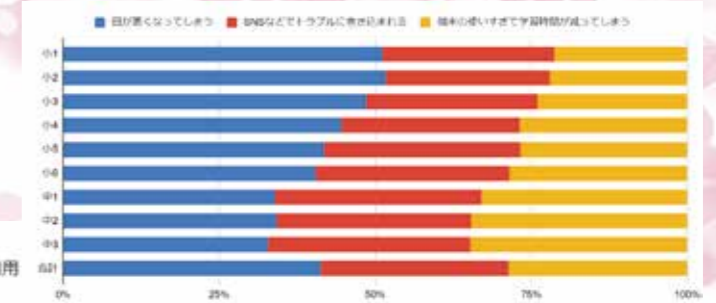


7 現在学校から貸与している端末(Chomebook、タブレットなど)を家庭内学習で利用していることをご存知ですか？



6 子どもは端末利用利用について、心配していることがあれば選んでください。

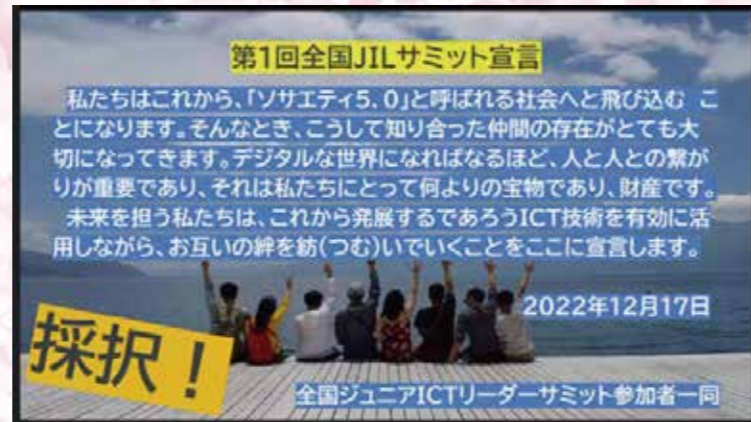
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
目が悪くなってしまう	527	534	534	552	561	553	512	504	448	4,725
SNSなどでトラブルに巻き込まれる	282	273	302	352	420	425	499	460	443	3,456
端末の使いすぎで学習時間が減ってしまう	220	227	264	332	359	391	498	511	474	3,276



- 【その他の回答】
- スマホ依存症
  - 睡眠不足
  - 運動や、他の遊びをしなくなる
  - 勉強に使っているのか遊んでいるのか分からない
  - 家族とのコミュニケーションが減る
  - 言葉遣いが悪くなる
  - 脳や心の発達への悪影響

## 甲府市のGIGAスクール構想について

(甲府市教育委員会 学校教育課)



国が進めているGIGAスクール構想とは、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備して次世代の教育環境と学びを実現することです。

2021年5月から、甲府市の各小中学校でも情報端末が配備され、実践がスタートしましたが、コロナ禍の中でスタートは混乱を余儀なくされました。未来社会を拓く甲府市の子ども達の新しい学びを展開するために、全ての学校において授業内外での一人一台端末を活用した教育活動を推進しています。学校の先生方も、新しいスタイルの授業が推進していけるように知恵を絞るとともに、端末活用の研修も実施しているところです。

児童生徒はこれまでの学校教育に加え、情報を主体的に収集・整理・分析したり、多様な資料・作品の制作に取り組んだりしています。また、子ども達が多様な考えに触れる機会を創出したり情報モラルの育成を行ったりもしています。

学校外では児童生徒のリーダー育成も行い、小5、中2を対象とした「甲府市ジュニアICTリーダー研修会」も2期目(2年目)となりました。

2022年12月には城南中の生徒達のアイデアが全国に広がり、「第1回全国ジュニアICTリーダーサミット」が行われ、立派に運営を務めることができました。このように、これまでは実現ができなかった経験を端末利用によって、実現可能な学びとなってきています。

現在、市内の多くの学校で端末の持ち帰りを実施しております。これは、学校と家庭での学びをこれまで以上に近づけ、児童生徒の自立した学びを支えることを最終目的としています。

是非、保護者の皆様にも、お子様が端末を利用する様子をご覧いただき、どのような学びが行われているか、ご確認いただきたいと思います。

学校においても、端末の利用方法や注意点を指導するようにはしておりますが、家庭内での利用時間や利用時の姿勢などに関して様子を見ていただきますようご理解とご協力をお願い致します。